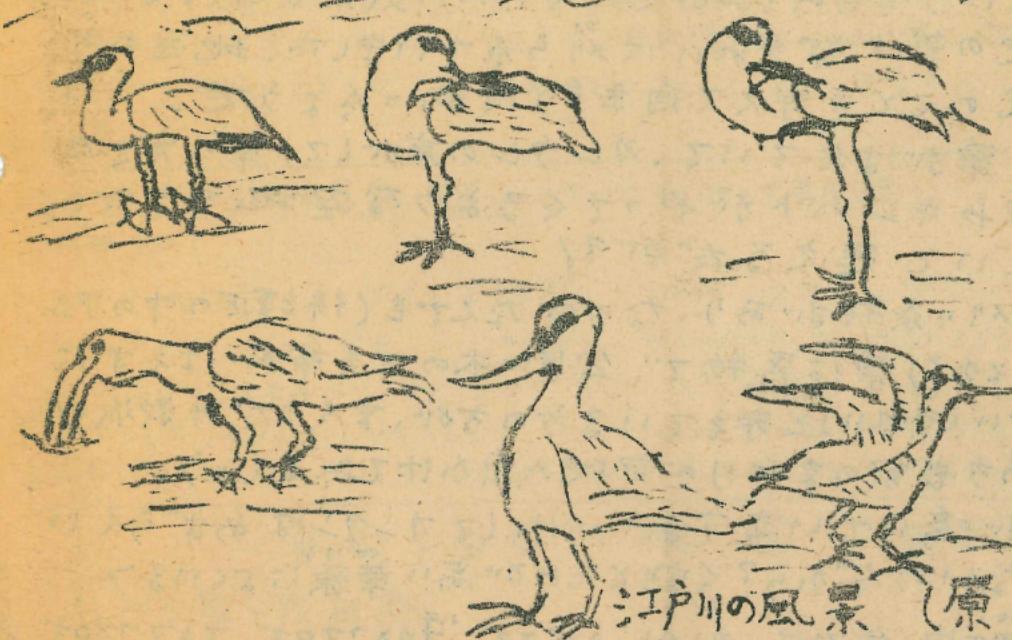


すずがも通信 No.9

1981.10.1

行徳野鳥観察会友の会会報



江戸川の風景 (原 言成)

([REDACTED]) 行徳小5年)

江戸川放水路は釣り人でお祭りさわぎだった。
キアシシギかなきながら、なんとモモシロ鶴におり
ようとするが、人間どもがウロウロしていて、
すぐにとび立ってしまう。ピューイ、ピューイと鳴く
声も「おなかすいた、おなかすいた」ときこえて
おにぎりをほうばるのも申しわけない気持。

新浜の北池には、オグロシギ、セイタカシギ
(新浜塙)
コアオアシシギ、アオアシシギ、ダイゼン、山ナガコ
など種類はかなり。でも個体数は多くない。

なぎさが人間で尊そん古こされている。今日の
ような日、鳥たちはいったいどこにいるの
でしょう?! < [REDACTED] >

1981.9.6
なかのひろ野の塙は観察会

音音 雜草を考え方よ!

"カンタンの鳴く町行徳"

宅地開発などでめきり減って勢いのコオロギといわれているカンタン(コオロギの中間)が行徳の空地で夜になると、さかんにいます。

私の家の裏の空地でもなっていました。夜ねながらにして、う……というカンタンの声がきて、いい気分でした。(しかしある日、その空地の草は皆きれいに刈られていました。地主の方があまりの住民のことを考えて自主的に刈ったようだ。

私にとっては、草がはえていて、カンタンの声がして、草の実をたべにカワラヒワやキジバトがやってくるような空地の方が、ずっとすばらしいと思えるだが?!

市川市にも草刈り条例があり、なにかなんでも(保護区の中のアシも刈るよう)言つたとか?)草は悪物で、公園の木の下も草がはえずには空地の方がよい(きれい)と考えている方の方が、まだまだ多數派のようです。会員の方も家のまわりの空地へ出かけてみましょう。

きっとカンタンが鳴っていますよ。……そしてカンタンはめずらしいコオロギではないのか?から?く割とだけが高い草叢によくいる

〈75(±)の鳥を虫の声を聞く会では、カタシ、ミバズ、カメコオロギ、エレマコオロギ、ツヅレセコオロギ……鳥アシギ、イソモ、ゴイギ、カルガモ……などかきました。

〈田久保晴子〉



さえずり(行事報告)

鳥のペンダントづくり 8月22日、29日

先日の粘土のペンダントの講習会では、皆様とても熱心なの。私も喜びました。1時間の予定が2時間半にもなり、おしゃべりをする子供さんもなく充実した時間をすごさせて頂きました。私自身がまだ未熟なので、と勉強をしたいと思っています。

(堀 瑞美子)

*堀さんは今回の講師の方です。ありがとうございました。

樂しかったが難しかった。思うように形が出来なかったり、色も前にぬいた色が、あれこれ模索いううちに、次の色をぬ、たりしたので、何度もやり直した。

氣にいいた作品は、文化祭の展示に出そうと思う。

これは誰でも作れると思うので、友達に教えてあげようと思う。

(小高芳美(中二))

かべ新田 シュニーカーコーナー <カツブリ19号(8月)編集 宮崎恒嗣、神野謙一
著木瑞穂、荒井純一より>

最近、保護区の中へ入って釣りをする人がいます。

保護区へ、むだして入るのは禁じられているのでやめて下さい! これから、自分のゴミは捨てるにもちり帰って下さい!

このような人をみかけたら注意して下さい。——自然を大切に——

編集注: 保護区以外でも、たくさん釣り人によって水辺がせんじらわれています。

そして、テグス(つる)やハリかたくせんじらわれています。観察台にもよく、つりあがからまでケカさした水鳥かはしまができます。自然観察の時でも、環境をよくする(つりあがなど)とともに、多数の釣り人に対して、マナーをよくするよう訴えています。

観察舎でみられる鳥 9/23 もうカモがやってきました!

(北地含む)

カツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、タツサギ、コサギ、オオサギ、カルガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハシロ、キンクロハシロ、スズガモ、キシバシ、コチドリ、シロチドリ、タツチドリ、タツセレ、トウネン、ハマシギ、アオアシギ、タカミギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、カラムクシギ、タツナフシギ、セイタシギ、ハシブドリ、キムバト、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、セズ、セツカ、スズメ、ムクドリ)、オナガ、ハナガ

変わりゆく行徳 ⑤ 田久保文子

小さくなつた自然

幾歳前から続いた、あの豊かな自然の地"行徳"を思えば、またたく間に、こわされてしまつた現在の行徳の自然……。

それでも、わずかに残された少しだけ地区には、キョウジョシギやツルシギの休息道、シラサギやカラスのとまろ古木、そしてカルガモやハシの遊ぶハヌ田があります。水路では、サリガニ、クチボソなどを釣り、笛声をあげている子供達の姿が映りました。ヨモギやタンポポ、セリも葉を広げ、チクチクやバッタもあちこちでみられます。

こんなに小さくなつた自然の中にも、たくさん生き物が生活しています。それなのに、生きものを皆埋めつくしてしまつてのブルトーザーが、またそこに来ています。

もうこの中央付近に立ても、家が見え、金持土蔵が見え、地下鉄の引き込み線が見えてしまいました。 554年頃

行 動 案 内

だまで主登場として画面に登場します

ヨタカの飛翔をみる会

10月4日(日) 午後6:30~7:30

集合 観察舎前 午後6時30分

渡りの途中のヨタカやアオバズクが御
船場で羽を休めています。^(夜) エサをとり
に飛び出します。他にゴイサギや声(鳴鳥)が
聞こえますよ。なお当日は(はしほ)自然観察会も開かれます。

スライドとお話の会(カモ)

11月8日(日) 午後1時30分より2時間
講師 蓬尾嘉恵 さん(行徳野鳥観察会)

テーマ カモの識別を中心とした話。

保護区には冬期たくさんのカモがやって
きます。識別のポイントを知って、自分でわから
るように書いたらどんなに楽しいでしょうか。

〈千葉県野鳥の会と共催〉

新浜自然観察会 担当田久保・東
原島・芝田

10月4日, 11月1日, 12月6日(月曜)
集合 東西線行徳駅広場 9時30分

シベリアやアラスカなどで繁殖を終えた
カモ達がやってきました。

カモやハシ、サギなどの水鳥の観察
をしましょう。セイカクシギにもありますよ。
(午前中は、江戸川放水路干溝、ハス田ま興学
昼食、午後園内を観察の予定)

〈千葉県野鳥の会(10月, 12月),
日本野鳥の会東京支部(10月, 11月, 12月)と共
同開催〉

定期園内観察会 1時30分~4時

集合 観察舎前 1時30分

日 10月4日, 18日
11月1日, 15日

(毎月第1, 第3月曜日)



新館長紹介(三枝史雄さん)

渡井前館長がご榮転した後、なかなか決まらなかつたが新館長として三枝史雄さんが8月より入りました。これからよろしくお手頃いします。

前職は道路維持課で、行徳地区の道路にも関係していくこと…行徳
の道路については詳しい。趣味はたくさんあるそうで、つりや伝書鳩についても
詳しいとか? 家は船橋市の三山町(年令50代初め)

会員の方も来会の節には、ごあいさつきお願いします!

事務局より

〈年会費 贈助 2000円以上、普通 1000円、少年 500円
(小中・高校)

①スバルサイ鳥類保護連盟編の来年1982年のカレンダーを観察会にて販売します。
<定価900円を会員の方には750円で> 11月から販売。

②いちかわ野鳥記、いちかわ植物記、関東周辺野鳥観察ガイド、椎木林の野鳥、日本野鳥
などの本類を観察会にて販売しています。

一編集後記→ 夏休みが終わり、カニツンの声が耳に入るのはごろですが、いかがおす
(はすたま) ごしてどうか、カモ達もでてくやっています。行事に参加するときに原稿も得下さい。

すずかも通信(行徳野鳥観察会友の会会報) No.9

1981年10月1日発行

発行人	龜谷 榮
事務局	鈴木 有子
編集人	仙台一6129
編集人	田久保晴孝・文子